授業科目	＊キリスト教学（旧約聖書）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	永町　友恵						
授業概要	西南女学院の建学の精神は、キリスト教、つまり聖書にその基を置いています。また近代文明の基礎を作った西欧文明も、聖書の思想を基にしております。そのように聖書は世界の文化や科学技術に大きな影響を与えました。実は聖書は日本のベストセラーでもあります。授業では実際に聖書を読んで、旧約聖書の内容に触れていきます。その聖書の手引きとして、早わかり聖書ガイドブックも併せて用います。また聖書を通して、神とは何か、人とは何か、そして自分とは何者かを考え、自分の生きる目的も探ることができます。そして人と人との関係についても考えることができるのです。音楽、絵画、文学などにも聖書とのつながりをもつものが数多くあります。この学びを通して単なる授業ではなく、私たちの生き方に関わる聖書の物語について、共に考えていきましょう。 講義はパワーポイントを用いて行います。そのパワーポイントの講義ノートを皆さんに配ります。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１.講義範囲の聖書を読む。 ２.疑問や問いを持つ。 予習として、毎回の聖書箇所、テキストの該当部分を読み、自分なりの感想、疑問を持つ。復習として、聖書をもう一度読む。 チャペルに出席する。 教会の礼拝に出席しレポートを提出する。（出席期間があります。）
理想的レベル	予習として、 1.毎回の聖書箇所、テキストの該当部分を読み、自分なりの感想、疑問をもつ。 2.わからない言葉などがあったら、自分で調べておく。 3.福祉という視点からの聖書の読み方を探っていく。 4.自分自身の生きる目的を考え、隣人とのかかわり（福祉）を考える。 復習として、聖書をもう一度読み、理解を深める。 チャペルに出席し感想を考える。 教会の礼拝に出席しレポートを提出する。（出席期間があります。）

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	10%	
小テスト	59%	
レポート	26%	試験を受けた後に加算します。
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	05%	試験を受けた後に加算します。
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

＊キリスト教学（旧約聖書）

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE10101J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
聖書を開いて全体を見て、疑問や感想を準備する。	4

授業計画	
第1回	聖書全般について 聖書を開いて全体を見て、疑問や感想を準備する。 キリスト教図鑑 P32-33 を読む。
第2回	神の創造のわざについて 創世記1章、2章を読む。神様についてのイメージを考える。 自分はどこから来たのだろうかを考えてみる。 キリスト教図鑑 P34-35 を読む。
第3回	人間の罪について 創世記3章と4章:1-16節を読む。 罪とは何かを考えてみる。 キリスト教図鑑 P36-37 を読む。
第4回	アダムからアブラハムの前まで ノアの洪水・バベルの塔 創世記5章、6章、7章、8章、9章1-17節、11章1-8節を読む。 キリスト教図鑑 P38-39 を読む。
第5回	アブラハムからヨセフまで 信仰の父アブラハム なぜエジプトに移動したのか 創世記12章、15章、22章1－14節、37章、40章、41章1-45節を読む。 キリスト教図鑑 P40-41 を読む。
第6回	モーセと出エジプト 一家族から一民族へ 出エジプト記1～5章を読む。
第7回	荒野での生活と十戒 出エジプト記16章1-32節と20章1-21節を読む。 キリスト教図鑑 P43-43 を読む。

第 8 回	イスラエルの三人の王 サウル王、ダビデ王、ソロモン王 サムエル記上 8 章 1-9 節、16 章 1－13 節、列王記 1 章 28-38 節を読む。 キリスト教図鑑 P44-45 を読む。
第 9 回	歴代の王たち（南北朝） 列王記上 12：1-19、列王記上 16：29－33、列王記下 25：1-21 を読む。
第 10 回	預言者 列王記上 18 章 20-39 節、列王記下２章、5 章 9－14 節を読む。
第 11 回	バビロン捕囚と帰還 列王記下 23 章 36～25 章 22 節、歴代誌下 36 章 17～23 節、エズラ記 1 章を読む。 キリスト教図鑑 P46-47 を読む。
第 12 回	神殿の再建 エズラ記 6 章 13～16 節、ネヘミヤ記 1 章 1～2：15 節を読む。
第 13 回	キリスト教とキリスト教以外の違い（カルト問題） キリスト教とは何をもってキリスト教と言えるのか考える。 神の代わりに人が立っていないか。
第 14 回	旧約聖書の女性たち サラ・ナオミとルツ・エステル ルツ記 1 章と 3 章、エステル記 1 章 1～2 章 18 節、4 章 1～5 章８節を読む。
第 15 回	クラス発表　または講義 個人、あるいはグループ発表をします。 発表者がいない場合は、聖書で関心があるところを学ぶ。
テキスト	聖書、新生賛美歌、キリスト教図鑑
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて紹介します。

課題に対するフィードバックの方法	講師に気軽にメールで質問するか、講義前後に質問してください。
学生へのメッセージ・コメント	聖書に親しむことと。聖書やテキストの言葉・用語の意味を確認する。 聖書を通して「神っているの？私の生きる目的って何？」の回答が見つかるかもしれません。聖書は西欧文化の根幹の一つであり、聖書を学ぶことによって、その理解にもつながります。 また科学や人間（私）を学ぶ時に、これが自然に生まれたものではなく、神の作品だと知ることで感動が生まれます。隣人愛は聖書が教える最も偉大な教えの一つです。 私の祖父は仏教の僧侶であり、大学はアメリカで物理学を専攻し卒業いたしました。そのような者にとっても聖書は真理を語り人生を導く光だと確信しております。 また西南女学院のチャペルや、紹介している近くのキリスト教会の礼拝やクリスマスの集会などに出席する機会を生かして今まで知らなかった世界をぜひ体験してください。 聖書はおもしろいよ！！！